

17. (Gno.46) 国際法過程の研究 (国際関係法研究会)

代表：宮野 洋一

2002/02/12 (承認) 2002 年度 (開始)

【研究の目的】

具体的な国際法のルール、たとえば条約の、形成、実現、紛争処理に関わる諸問題を、対内・対外両側面に涉り多面的に検討することを通じて、裁判や法解釈にかたよらない、国際法過程の動的な全体像を解明する。

【研究活動及び成果】

総括

以下の研究会・講演会を開催した。

第95回定例研究会 5月27日

西海 真樹 (中央大学法学部教授) 「パリ国際大学都市日本館とは何か？」

Anastasia Volkov (トゥール大学・Ph.D candidate) "The European geographical indication system :construction and influence on WTO GI rules"

第96回定例研究会 7月17日

小林 友彦 (小樽商科大学商学部教授)

「先住民狩猟権と動物福祉倫理の間の衝突をめぐる国際紛争におけるWTO紛争処理制度の機能」

第97回定例研究会 11月20日

Vasilka Sancin (リュブリャナ大学法学部教授)

"The Role of Artificial Intelligence in Regulation of Migration"

第98回定例研究会 1月27日

谷口 洋幸 (青山学院大学法学部教授)

「近年のLGBTQ関連国内判例に関する一考察：国際法・比較法の用いられ方に着目して」

竹内 雅俊 (東洋学園大学グローバルコミュニケーション学部准教授)

「英米裁判所にみられる「政府承認の訴求」原則の評価について」

《講演会・ウェビナー一覧》

講演会 (日本比較法研究所共催) 4月17日

Peggy Ducoulombier (ストラスブール大学法学部教授)

"The Protection of Sexual Minorities by the European Court of Human Rights"

講演会 (日本比較法研究所共催) 11月6日

William Thomas Worster (ハーグ応用科学大学准教授)

"Discrimination on the Basis of Nationality Under the Convention on the Elimination of Racial Discrimination"

日本比較法研究所 2023年度共同研究

ウェビナー 12月17日

尾崎久仁子(中央大学法学部特任教授)、新井 京(同志社大学法学部教授)、錦田 愛子(慶應義塾大学法学部教授)

「今、イスラエル・ガザ戦争を考える」

第1報告「パレスチナ・イスラエル政治の観点から」錦田 愛子

第2報告「国際人道法の観点から」新井 京

第3報告「国際刑事法の観点から」尾崎久仁子